



平成 26 年 7 月 3 日

独立行政法人国立科学博物館

### 世界最大の「花」ショクダイオオコンニャクが開花しました

国立科学博物館筑波実験植物園（園長 岩科 司）では、世界最大の「花」といわれるショクダイオオコンニャク（燭台大蒟蒻）が開花しました。

平成 26 年 6 月 20 日付でプレスリリースしました世界最大の「花」といわれるショクダイオオコンニャク（燭台大蒟蒻）が平成 26 年 7 月 3 日（木）に開花しました。

今回咲いた花は高さ 2.64 メートル（7 月 3 日（木）9 時現在）あり、国内で咲いた最も背の高い花となります。また、同じ株が 2 年の間隔で咲くのは世界でも珍しく、日本では 2 例目です。

開花までの生長の様子を見どころと併せて、これまで毎日、ホームページで公開してきました。（<http://www.tbg.kahaku.go.jp/news/konnyaku/>）

世界でも開花が稀で、しかも咲いて 3 日目には閉じてしまうことから、花を見るチャンスは滅多にありません。是非、この貴重な機会を体験してください。

なお、7 月 4 日（金）～6 日（日）の 3 日間は、開園時間帯を下記のとおり延長します。（7 月 7 日（月）は月曜日ですが臨時開園します。）

開園時間帯：8 時 30 分～18 時 30 分（入園は 18 時まで）

但し 7 月 7 日（月）は 9 時～16 時 30 分（入園は 16 時まで）

つきましては、本日午後 5 時からプレス内覧会を実施いたしますので、取材・記事の掲載など広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。（集合場所：研究管理棟 1 階ロビー）

#### 本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：西田 幸男

担当研究員：堤 千絵（植物研究部 多様性解析・保全グループ）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: [tbjimu@kahaku.go.jp](mailto:tbjimu@kahaku.go.jp)

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

## ショクダイオオコンニャクの開花について

### 1. ショクダイオオコンニャクについて

標準的な和名：ショクダイオオコンニャク（燭台大蒟蒻）

学名：*Amorphophallus titanum*（アモルフォファルス・ティタヌム）

科名：サトイモ科

分布：インドネシア・スマトラ島の熱帯雨林

花序の最大のサイズ：高さ 3.1m（ギネスブックの公式記録）、直径 1m

世界最大の「花」：ショクダイオオコンニャクの「花」は正確には花序（花の集まり）です。例えばアジサイのかたまって咲く花と同じです。花そのものが最も大きい植物はラフレシアの一種です。

### 2. 開花について

開花日：平成 26 年 7 月 3 日（木）

日本での開花：10 例目（6ヶ所目・本園では 2 例目）

花序のサイズ：高さ 2.64cm（7 月 3 日（木）9 時現在）

花の見ごろ：開花日を含め 2~3 日です。3 日目には花が閉じることが予想されます。

履歴：平成 4 年 東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）で播種。

平成 18 年 小石川植物園から譲り受け。

平成 24 年 3 月 生育・休眠を数回繰り返し、2012 年 3 月に生育を開始。同年 3 月 16 日に定植。

平成 24 年 5 月 25 日 開花

平成 26 年 4 月 23 日 植え替え（イモのサイズは重量 70kg、直径 66cm、厚さ 42cm）

平成 26 年 7 月 3 日 開花

前回の開花：開花日 平成 24 年 5 月 25 日（金）

花序のサイズ 高さ 206cm、直径 93cm

### 3. 開花までの記録について

筑波実験植物園ホームページ (<http://www.tbg.kahaku.go.jp/news/konnyaku/>) で生長の様子を見どころとともに紹介しています。



開花し始めたショクダイオオコンニャク  
（平成 26 年 7 月 3 日 13 時現在）



平成 24 年に開花したショクダイオオコンニャク